

からふる



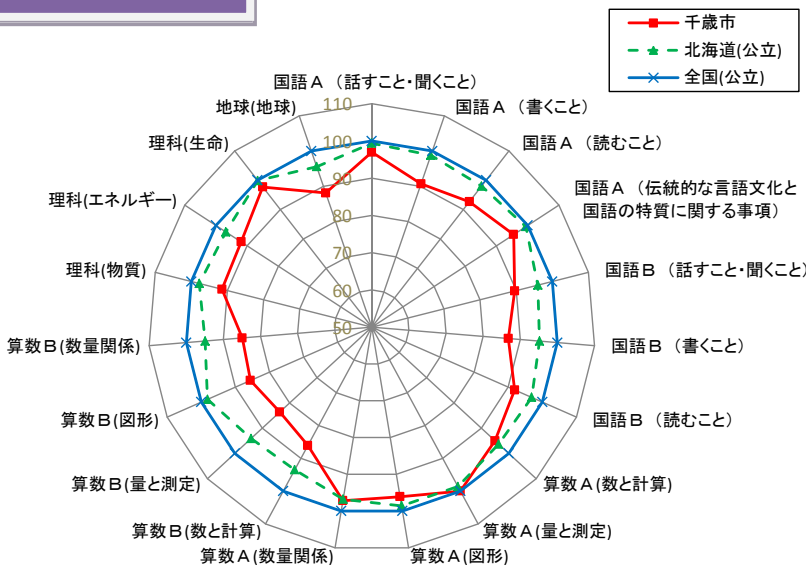
平成30年8月 夏号
発行：千歳市教育委員会

「からふる」は、千歳市の特色ある教育や学校の取組を広く紹介するために、年4回発行する季刊紙です。子どもたちや学校にはそれぞれの特徴があります。その個性がさらに色鮮やかに輝いてほしいという願いを込めて「からふる」と名づけました。

平成30年度「全国学力・学習状況調査」結果

【小学校】 教科全体

国語、算数ともに活用力の育成に課題！
B問題、全国を大きく下回る！！



国語Aは、全国より4ポイント低く課題が見られます。算数Aは、全国との差が1.4ポイントとわずかで着実に力をつけてきています。「活用力」を見るB問題は、全国より国語Bが5.9ポイント、算数Bが7.5ポイント低く、全国との差は昨年より大きく広がりました。3年に1度の調査(前回は平成27年度)である理科は、全国より4.7ポイント低く全国との差は前回より1.4ポイント広がりました。

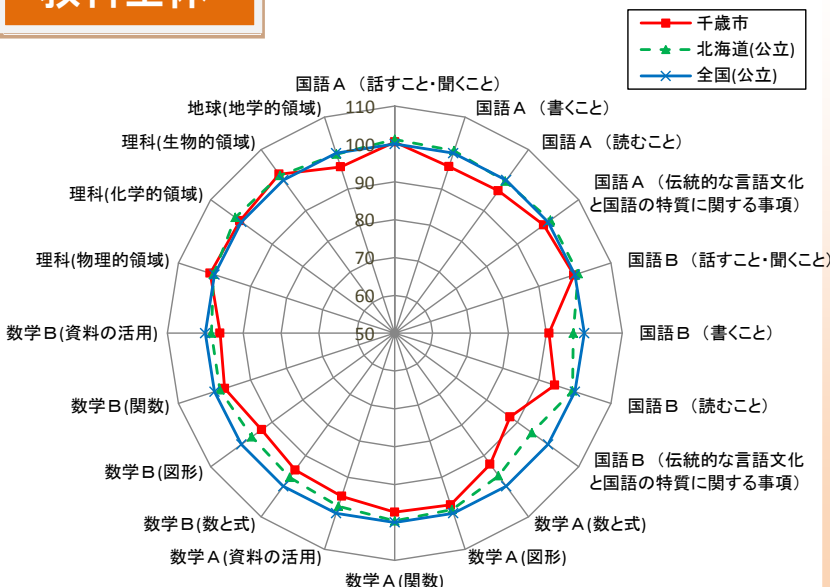
	国語A (全12問)	国語B (全8問)	算数A (全14問)	算数B (全10問)	理科 (全16問)
千歳市	8.0問 66.7%	3.9問 48.8%	8.7問 62.1%	4.4問 44.0%	8.9問 55.6%
北海道	8.4問 70.1%	4.2問 52.7%	8.7問 62.2%	4.9問 48.7%	9.4問 58.8%
全国	8.5問 70.7%	4.4問 54.7%	8.9問 63.5%	5.1問 51.5%	9.6問 60.3%

上段：平均正答数、下段：平均正答率

○調査対象…小学校16校 第6学年 881名(北進小学校を除く。)

【中学校】 教科全体

国語A、数学Bは、全国との差が縮小！
理科は全国を上回る！！



国語Aは、全国より1.4ポイント低かったものの、全国との差は昨年より1.4ポイント縮まりました。数学Aは、全国より2.8ポイント低く、全国との差は昨年と同様でした。国語Bは、全国より2.3ポイント低く、全国との差は昨年と同様でした。数学Bは、全国より1.9ポイント低かったものの、全国との差は昨年より1.1ポイント縮まりました。理科は全国を0.2ポイント上回りました。

	国語A (全32問)	国語B (全9問)	数学A (全36問)	数学B (全14問)	理科 (全27問)
千歳市	23.9問 74.7%	5.3問 58.9%	22.8問 63.3%	6.3問 45.0%	17.9問 66.3%
北海道	24.5問 76.6%	5.5問 61.2%	23.4問 64.9%	6.4問 45.8%	18.0問 66.7%
全国	24.3問 76.1%	5.5問 61.2%	23.8問 66.1%	6.6問 46.9%	17.9問 66.1%

上段：平均正答数、下段：平均正答率

○調査対象…中学校8校 第3学年 839名(北進中学校を除く。)

千歳市ホームページに「からふる」のバックナンバーを掲載しています。

URL : <http://www.city.chitose.hokkaido.jp/>

千歳市 からふる

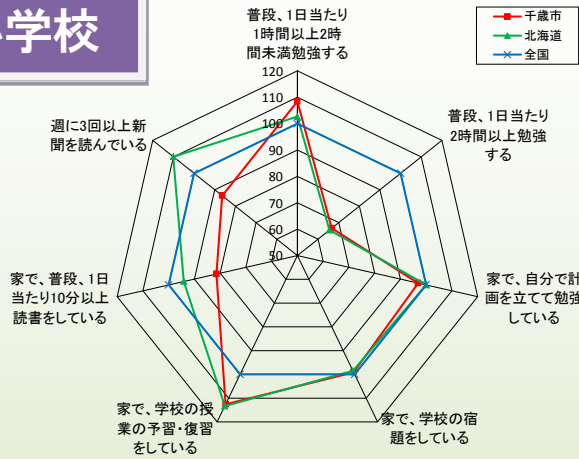
検索



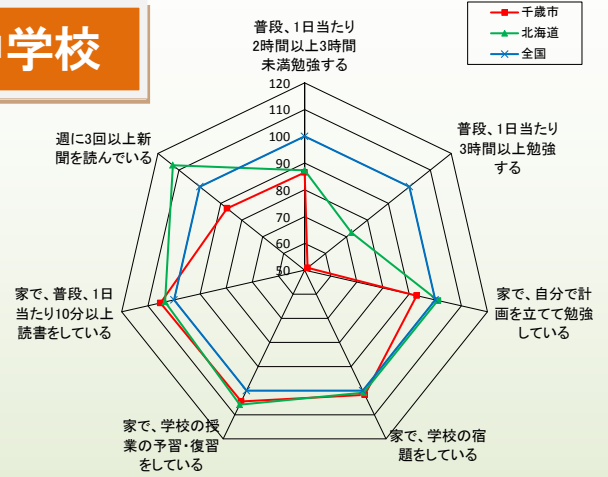
学習習慣

家庭生活の中で、小学生は読書、中学生は学習の時間を増やすことが課題！！

小学校



中学校



※休日の勉強時間に関する質問が削除されたため、本年度から「新聞」と「読書」に関する調査結果を掲載しています。

普段の家庭での学習時間については、**小学校では、「1時間以上2時間未満勉強する」児童の割合が全国を上回り、「学年×10分+10分」の取組が定着している状況が見られるものの、「2時間以上勉強する」児童の割合は、全国を大きく下回っており、全国と比較すると家庭での学習時間が少ない状況が見られます。中学校では、「2時間以上3時間未満勉強する」「3時間以上勉強する」生徒の割合が、ともに全国を下回っており、家庭での学習時間が少ない状況が見られます。**千歳市の小中学生は、学校から与えられた宿題にはまじめに取り組んでいますので、そのよさを伸ばし、今後は、**宿題以外の自主学習に取り組む能力や態度を育てていくことが必要**です。

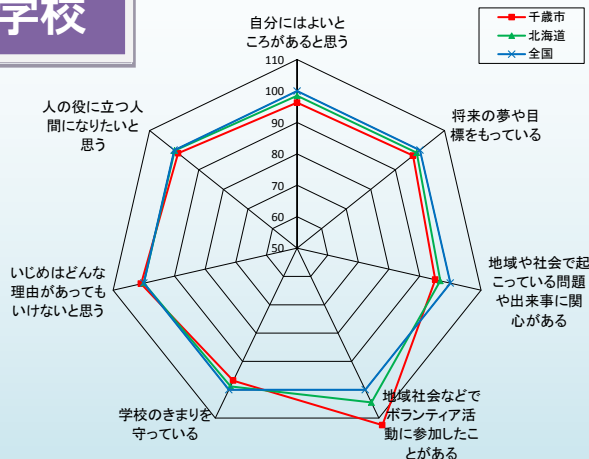
家庭での読書(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)については、中学校では、「1日当たり10分以上読書をしている」生徒の割合は全国を上回っていますが、小学校では、その児童の割合は、全国を大きく下回っており、**小学生の読書習慣の形成に課題**が見られます。

自己有用感・規範意識

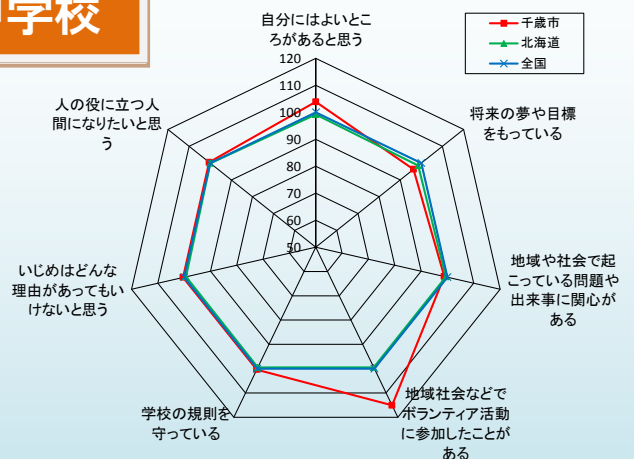
ボランティア活動が児童生徒の

自己有用感・規範意識の向上に効果を発揮！

小学校



中学校



※「朝食の摂取」「起床時間」「就寝時間」については、千歳市の児童生徒は、全国と同様の状況となっていることから、生活習慣に関する調査結果に替えて、「自己有用感・規範意識」に関する調査結果を掲載しています。

小中学校ともに、「ボランティア活動に参加したことがある」と回答した児童生徒の割合が全国を上回り、その他の設問については、全国と大きな差は見られません。その中で、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」「学校のきまり(規則)を守っている」児童生徒の割合は全国と同様となっており、ボランティア活動で地域の人たちから「褒められる」「認められる」経験が児童生徒の自己有用感や規範意識の向上につながっている状況が見られます。

学校の特色ある取組を紹介します！

千歳第二小学校

学校×地域 ～育てる郷土愛～

千歳第二小学校では、地域の方々や各種団体、企業にご協力をいただき、子どもたちの発達段階に応じた様々な体験活動に取り組んでいます。地域の老人クラブと一緒に学校の花壇づくりや昔遊びに取り組み、サケのふるさと千歳水族館からサケの受精卵を預かり稚魚になるまで育て放流します。また、地元の企業や農家、施設を訪問して体験活動をさせていただいたり、地元の方を招いて、アイヌ文化について学習をしたりしています。これらの活動を通して、子どもたちは自分たちの生活する地域を様々な視点から見つめ深く理解し、郷土愛の育成にもつながっています。



北進小中学校

居住地校交流 ～交流及び共同学習の充実をめざして～

インクルーシブ教育という言葉を目にしたことはありますか。障がいのある子どもとそうでない子どもがお互いを尊重して、同じ場で共に学ぶ仕組みのことを言います。文部科学省では、共生社会の形成に向けて、「障がいのある子どもが、地域の子どもや人々の交流等を通して、地域での生活基盤を形成するため、可能な限り共に学ぶことができるように配慮することが重要である」としています。

北進小中学校では、「生活基盤の充実」のため「居住地校交流」を行っています。同じ地域に住む子どもたちが互いを知り合うきっかけを作り、交流を深めるというものです。年に1度、希望者だけの参加となりますが、小学1年から中学3年まで全て参加すると9回参加できます。たとえ年に1度でも9年間参加できれば、より一層交流が深まり、日常生活の中で会った時に声を掛け合う姿が見られるかもしれませんし、そのようになることを願って、取り組んでいるところです。



向陽台中学校

幼児との触れ合いから多くを学ぶ ～家庭科の授業から～

向陽台中学校では、3年生「家族と家庭生活」の分野で、自分の成長と家族・幼児の生活についての学習を行っています。毎年、向陽台つくし幼稚園に訪問し、幼児と一緒に遊ぶおもちゃ作りの計画及び制作に取り組み、実際に幼児が喜ぶ様子を見て達成感を味わっています。幼児と直接触れ合う体験活動を通して、幼児への関心を深めることができる一方、生徒自身もこのような時期があったことや、今の自分の成長を感じることができるなど、多くのことを学ぶことができる貴重な体験活動を行っています。



子ども110番の家

ぶんちゃん「子ども110番の家」の会と千歳市は、市民協働事業として、子どもたちの安全を守るために協力をいただいている施設やお店、個人宅を「緊急避難所（子ども110番の家）」に指定する事業を行っています。「子ども110番の家」では、助けを求める子どもたちを保護し、併せて学校や警察に連絡をすることとしています。校区内の「子ども110番の家」を確認し、もしも誰かにしつこく後をつけられたり、被害に遭いそうになったときは、「子ども110番の家」に助けを求めるように、ご家庭で話しあっておくとよいと思います。

現在、市民協働事業において、「子ども110番の家」マップの作成や協力者の募集を行っています。ご協力いただける企業やご家庭は、ぶんちゃん「子ども110番の家」の会事務局（北海道新聞苫小牧支社内／電話0144-33-5363・平日9時30分～17時30分）へご連絡ください。

千歳市では、不審者情報等を把握し、市内各校や関係機関へ緊急FAXを送信し、注意指導を促しています。もしも不審者を目撃したときは、体型や身長、年齢などの特徴、車両登録ナンバー（2けた以上）や車種・色などについて、警察署に通報するとともに、通っている学校にも連絡をお願いします。不審者の特徴を覚えておくことで、捜査が進みやすく、不審者発生の抑制や犯罪の未然防止につながります。



とぴっくす

世界遺産のあるまち「千歳」へ向け、大きく前進！

世界文化遺産登録に向けた取組を進めてきた千歳市内にあるキウス周堤墓群を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が、文化庁の文化審議会において**2020年の世界文化遺産登録を目指す候補に決まりました！！**

縄文遺跡群は、北海道・北東北（青森、岩手、秋田）にある17の遺跡で構成され、これらを1件の世界遺産として登録を目指しており、来年2月1日までに国連教育科学文化機関（ユネスコ）に推薦書が提出される予定です。

世界遺産のあるまち「千歳」をめざし、今後も様々な取組を実施していきます。

【キウス周堤墓群とは】

今からおよそ3,200年前の縄文時代後期に作られたと考えられている**北海道固有の集団墓地**です。地面に円形の穴を掘って、周囲に土を積み上げドーナツ状の土手の墓を作り、全8基で構成しています。



総合教育会議を開催しました！

千歳の未来を託す子どもたちを育む教育行政について、市長と教育委員会が協議する総合教育会議を5月30日に開催しました。

第7回目となる本会議では、教育重点施策を議題とし、学力の向上を図るための学習支援員の配置による習熟度別少人数指導や読解力を養う読書活動の推進の取組の他、子どもたちが規則正しい生活習慣や学習習慣を身に付けるため千歳市PTA連合会との協働事業として行っている「家庭生活宣言」について意見を交わし課題を共有しました。



生きた英語と楽しく触れ合う！ALTによる「Summer Class」を実施！

千歳市では生徒の学力向上を目的にALT（外国人英語指導助手）による長期休業を利用した課外授業「外国語サポート事業」を市内中学校で実施しています。ALTの生きた英語と楽しく触れ合う機会を持つことで、コミュニケーション能力の向上や苦手意識の克服など授業では補えない学習支援を行っています。

これまでに習った英語を交えての会話や外国のゲームなど、みんなが楽しめるようなプログラムをALTが考えています。今年度の「Summer Class」は中学校7校で実施しており、7月25日の勇舞中学校では34名の生徒が参加しました。「ALTとたくさん話せてよかった」「また参加したい」など、普段とは違うALTの授業の中で楽しみながら英語を学んでいました。冬休みには「Winter Class」を実施する予定ですので、興味のある方は、ぜひ参加してください。



泉沢小学校 ～我が校の図書館～

泉沢小学校は、1階のホールを図書館として使用しています。教室に行くために必ず通る場所にあるため、本をととても身近に感じることができる環境にあります。図書ホールの利用頻度がとても高いため、図書委員の児童は、休み時間だけではなく、朝や帰りにも貸出、返却の仕事をしています。また、学校として「ブックウォーク」の取組を行っており、児童と本とのかわりを深めています。PTA図書ボランティア「いずみの森」による絵本の読み聞かせや行事や四季にあわせた壁面装飾、学校司書による様々な授業支援等も積極的に行っています。



富丘中学校 ～わたしたちの単P活動～

富丘中学校PTAは、本田会長を中心に「力を合わせ 行動するPTA」をスローガンにして、様々な活動に取り組んでいます。

毎年12月に行われている「弁当の日」は、生徒が自分で弁当を作ることを通して、食について考える活動です。PTAの発案により始まり、今年で9年目を迎えます。早起きは大変ですが、生徒は弁当を作るだけでなく、それを友達と見せ合うことを楽しみにして、活動に取り組んでいます。PTAでは、PRポスター作りや弁当を食べている様子を参観するなど、活動をサポートしています。



編集・発行 千歳市教育委員会（教育委員会庁舎2階 教育部 企画総務課）

■住所：〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地 ■電話：24-0819(直通) ■FAX：27-3743

■E-mail：kyoikukikaku@city.chitose.lg.jp

■URL：<http://www.city.chitose.lg.jp/>